

政策整理番号 33

### 評価シート(B)

対象年度	H16	作成部課室	土木部港湾課	関係部課室	
------	-----	-------	--------	-------	--

政策番号	4-10-1	政策名	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化
------	--------	-----	-------------------------

施策番号	3	施策名	仙台国際貿易港の整備と活用
------	---	-----	---------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

【政策評価指標達成状況から】有効  
 ・指標名:仙台塩釜港(仙台港区)外貿コンテナ貨物取扱量 達成度 A  
 ・(達成状況の背景)国内各港湾間の航路誘致、貨物集荷競争が激化している。  
 ・(達成度から見た有効性)仮目標値を8.5ポイント上回っており、施策の効果が認められる。

【政策満足度から】有効  
 ・政策満足度は過去4回とも60点とある程度の満足度が得られていると認められる。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】有効  
 ・平成16年の仙台港の貨物取扱量は、開港以来最大の34,751千フレート・トン(前年比:2.9%増)であり、うちコンテナ貨物取扱量は、1,708千フレート・トン(93,578TEU)(前年比:15%増)である。  
 ・仙台港の平成16年のコンテナ貨物取扱量の伸び率は、全国平均を9.4ポイント上回っており、施策の効果が認められる。

【総括】有効  
 ・政策評価指標達成度、施策満足度から有効性は確認できる。

### 施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	仙台国際貿易港整備事業	6		
2	主	港湾振興対策事業	7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切 概ね適切 課題有

【国,市町村,民間団体との役割分担】適切  
 ・(国)仙台国際貿易港整備事業のふ頭整備に関しては、国の地方整備局が中心的な役割を担っている。  
 ・(県)港湾振興対策事業に関しては、県が中心となり、市、商工会議所等の官民が一体となったポートセールスを行っている。  
 ・(市町村)同上  
 ・(民間団体)同上

【施策目的を踏まえた事業か】適切  
 ・港湾施設の整備としての国際貿易港整備事業、港湾利用促進のための港湾振興対策事業の各施策が有効に機能した結果が指標値に現れているものと思われる。

【事業間で重複や矛盾がないか】適切  
 ・目的、対象者等に応じ事業が設定されており、重複や目的が矛盾する事業はない。

【社会経済情勢に適応した事業か】適切  
 ・陸送により京浜港を経由している東北地方の外貿コンテナ貨物を仙台港利用への転換を図り、今後一層の貨物量増加を実現するためには社会経済情勢に適応した事業である。

【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性)適切  
 ・過去3年間のかい離は10と小さいものの、京浜港を経由しているコンテナ貨物の仙台港シフトへの働きかけを行って行くためには必要な事業である。

【総括】  
 ・施策目的、県の役割分担、社会経済情勢、県民満足度の推移から判断して本施策の事業設定は適切と判断する。

施策番号	3	施策名	仙台国際貿易港の整備と活用
------	---	-----	---------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効 概ね有効 課題有

<p>【施策満足度から】有効 ・施策満足度は過去3回にわたり60点と高いため有効である。</p> <p>【政策評価指標達成状況から】有効 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋 ・政策評価指標「仙台塩釜港(仙台港区)外貿コンテナ貨物取扱量」は順調に推移し、平成12年以降毎年目標値を上回っている。</p> <p>【社会経済情勢を示すデータの推移から】有効 ・東北における輸出入コンテナ貨物の自地域内港湾取扱いは、平成10年10月調査時の20%から平成15年10月調査時には36%と増加している。(全国外貿コンテナ貨物流動調査:国道交通省が5年に1回調査)</p> <p>【業績指標推移から】有効 ・業績指標は前年同数であり妥当な数字と思われる。</p> <p>【成果指標推移から】有効 ・前年比15%増と大幅に増加した。</p>
<p>【総括】有効 ・京浜港から仙台港へのコンテナ貨物のシフトが進み、取扱量も順調に推移していることから有効と判定する。</p>

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的 概ね効率的 課題有

<p>【施策満足度 業績指標・成果指標】効率的 ・施策満足度は過去3年間高水準を維持している。</p> <p>【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】効率的 ・政策評価指標値を達成している。</p> <p>【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】効率的 ・5年に1回実施されている外貿コンテナ貨物流動調査により、京浜港からの仙台港へのシフトが進んでいることが確認される。</p> <p>【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】効率的 ・前年度よりも効率性指標が上がっている。</p>
<p>【総括】効率的 ・満足度、政策評価指数等各所データは、施策の目指す方向に進んでいるため、事業群は効率的に実施していると判断できる。</p>

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

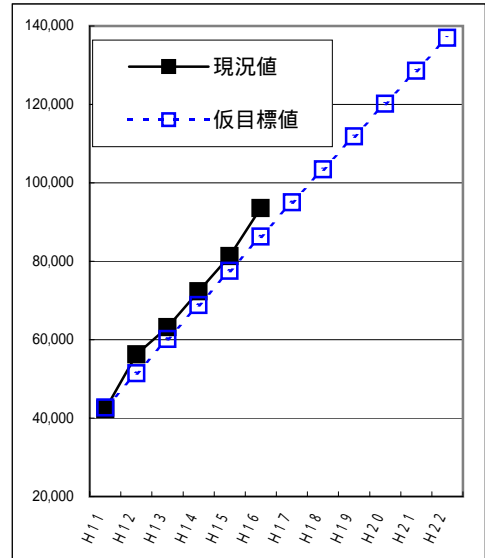
<p>・事業群の設定、有効性、効率性とも合格と言える。</p>
---------------------------------

対象年度	H16	作成部課室	土木部港湾課	関係部課室	
政策番号	4-10-1	政策名	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化		
施策番号	3	施策名	仙台国際貿易港の整備と活用		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標名		単位							
仙台塩釜港(仙台港区)外貿コンテナ貨物取扱量		TEU							
目標値	難易度	H17	95,000		H22	137,000			
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
測定年	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16		
現況値 (達成度判定値)	34,000	42,270	56,229	63,212	72,358	81,346	93,578		
仮目標値	34,000	42,714	51,429	60,143	68,857	77,571	86,286	95,000	
達成度		B	A	A	A	A	A		

政策評価指標値の推移(グラフ)



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

- ・「世界に開かれたゲートウェイの整備」という観点から、物流の手段としての海上輸送は必要不可欠である。
- ・港勢を見る上で、定量的に利用率を把握する指標としては、外国貿易貨物取扱量が妥当である。
- ・近年の海上貨物輸送においてはコンテナ化が進み、世界の主流となっていることから、コンテナ貨物量を指標とした。

(3) 施策満足度の推移

施策満足度 (単位:点)	年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
	施策重視度 A	-		70	70	70						
	施策満足度 B	-		60	60	60						
	かい離 A-B	-		10	10	10						

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し	イ 達成度と施策満足度の推移の相関
達成度:A ・船会社に対する積極的なポートセールス及びコンテナターミナルの施設整備により、新規航路の開設、便数の増加などコンテナ定期航路の充実を図る一方、荷主企業等に対し、個別訪問等による仙台港利用の働きかけを行った結果、コンテナ貨物取扱量は順調に伸びている。 ・国内では港湾使用料等の減免を行うなど、港湾利用者に対する優遇制度を導入する港湾が増えている。そういった港湾間の航路誘致、貨物集荷競争が激化している中、仙台港を利用した場合のコスト削減など、サービスの向上に向けた取り組みを強化し、ユーザーの使い勝手を向上させることにより利用促進を図り、目標値を達成することとする。	判定: ・ 相関の判定: (正の相関)、×(負の相関)、...(判定不能 満足度あるいは達成度の変動がない、または達成度が判定不能のため相関の検証ができない場合等)

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

[施策の有効性を評価する上で適切な指標か]  
 ・港湾における代表的な指標としては、「取扱貨物量」や「コンテナ貨物取扱量」が揚げられる。  
 ・仙台塩釜港での取扱貨物の主用品目は、原油・LPGなどの工業原料品であり、コンテナ貨物量は全体の約5%程度である。  
 ・しかし、県民生活に直接関わりがある日用品等が多く扱われている「コンテナ貨物取扱量」を政策評価指標とすることが妥当と思われる。





# 施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 33

対象年度	H16	作成部課室	土木部港湾課	関係部課室	
政策番号	4-10-1	政策名	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化		
施策番号	3	施策名	仙台国際貿易港の整備と活用		

## C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性  
 ・政策評価指標(仙台塩釜港(仙台港区)外貿コンテナ貨物取扱量)を達成するため引き続き重点的に実施する必要がある。

【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性  
 ・外貿コンテナ貨物取扱量は順調に推移しており、事業事業群の設定は妥当であり、有効性・効率性も認められる。

【上記対応により、当該事業を縮小・中止した場合の影響】  
 ・該当なし

## C - 2 施策・事業の方向性

### 施策の次年度(H18年度)の方向性とその説明

方向性	<b>拡大</b>	維持	縮小	その他
-----	-----------	----	----	-----

【見直しの視点とその理由】  
 ・荷主・船会社等の高砂コンテナターミナル利用者からは、外貿コンテナ貨物取扱量の増加に伴うコンテナヤードの手狭感やヤード内施設等の使い勝手の悪さが指摘されている。  
 ・今後さらなる取扱量の増加が予想される。

【次年度の方向性】  
 ・コンテナヤード内各施設の再配置とヤードの拡張を検討する。

### 主要事業・重点事業の次年度(H18年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名 [H16決算見込額]	方向性	方向性に関する説明
1	主	仙台国際貿易港整備事業 [284,102千円]	拡大	コンテナ貨物量の動向を見極めながら計画的に整備していく。
2	主	港湾振興対策事業 [5,660千円]	維持	仙台塩釜港のポートセールス活動により、京浜港を經由しているコンテナ貨物の仙台塩釜港シフトへの働きかけを行っていく。
3				
4				
5				
6				
7				
8				